

【愛知県一宮市】 発火事故防止のための市民啓発

リチウムイオン電池等の発火危険物による発火事故は、当協会のプラスチックリサイクル工場だけでなく、全国の市町村のリサイクルセンター、不燃物処理施設でも増加しています。

愛知県一宮市のリサイクルセンターで、令和元年11月13日午後3時半ごろ、約5時間燃え続けるという大きな火災事故が発生しました。火災は、不燃物・粗大ごみ破砕機での破砕直後のコンベアで発生しました。火災の原因は断定出来ませんが、「リチウムイオン電池等の可能性がある」という見解が示されています。被害額も設備修繕費、不燃物処理委託費など多額になると推測されています。この火災事故を受け、愛知県一宮市が行った市民啓発をご紹介します。

記

【一宮市が行った市民啓発】

一宮市内の全町内会にチラシ配布、一宮市のホームページ及び広報誌に複数回掲載（以下参照）、SNSでの啓発、ごみ出し辞典への情報追加、環境イベントにて啓発グッズ、チラシ配布 等

一宮市ホームページ・広報誌掲載内容の抜粋 <https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/kurashi/gomi/1000388/1025976.html>

【リチウムイオン電池の分別にご協力を】

リサイクルセンターで発火件数が増えています。市リサイクルセンターでは、不燃・粗大ごみを破砕処理しています。破砕処理による衝撃で炎が発生しており、炎を検知する件数は年々増加しています。主な発火の原因はリチウムイオン電池です。

一宮市リサイクルセンターでの炎検知状況

年度	H26	H27	H28	H29	H30
件数	25 件	31 件	31 件	74 件	174 件



一宮市リサイクルセンター火災の様子



消火後のリチウムイオン電池（11/13火災事故のものではない）

破砕処理による衝撃で炎が発生しており、不燃ごみは、取り外せるリチウムイオン電池など小型充電式電池を外してから出してください。電池が入ったまま不燃ごみとして出さないようにしましょう。火災を防ぐためにも、皆様の正しい分別によるご協力をよろしくお願いします。小型充電式電池が使用されている主なものとして、携帯電話、スマートフォン、モバイルバッテリー、電子ゲーム機器、デジタルカメラ、ハンディクリーナー、コードレス電話、電動歯ブラシ、電気シェーバ、加熱式たばこ機器などです。

【リチウムイオン電池など小型充電式電池はリサイクルできます】

リチウムイオン電池、ニカド電池、ニッケル水素電池などの小型充電式電池はリサイクルできる貴重な資源であり、これらを使用している製品にはリサイクルマークがあります。リサイクルするには販売店へお問い合わせいただくか、協力店のリサイクルボックスへ入れ、分別にご協力をお願いします。小型充電式電池の種類、特徴、使用機器、リサイクルマーク、協力店については、一般社団法人JBRCのウェブサイトをご覧ください。また、どうしても小型充電式電池が取り外すことができない小型家電は、市内19カ所にある「小型家電回収ボックス」に入れてください。なお、投入口の大きさは、たて15センチメートル×よこ30センチメートルに入るものに限りです。